

こんにちは婦人会「さくら」です

10月も後半になり、朝晩めっきり寒く暖房が恋しい季節になってきましたね。公園の銀杏も色づき始めました。出先で見かけた柿の木も、葉が落ちて柿の実だけが残っていて、静かな里に彩りを漂わせ、過ぎゆく秋を惜しむようです。ところで、10月8日に皆既月食がありました。みなさん観測されましたか？ 編集人は肉眼で観測でしたが、望遠鏡を持っている知人が写真を送ってくれました。レンズを通すとこのように見えていたのですね

～婦人会・暮らしのエッセンス～

テレビで栗の数え方の紹介をしていました。面白かったので、ネットで調べてみたら他にもありましたので、2、3ご紹介します



ね。栗の実是一个、イガも一個と数えますが、雅語なら1鞠^{がこまり}と数えます。雅語とは和歌などに用いられ、主として平安時代の正しいとされる優雅な言葉だそうです。それから、箆^{さお}筒の数え方は一棹と数えます。江戸時代に箆筒に竿を通して運ぶ習慣があったことに由来するそうです。なんと当時の箆筒は竿を通すための専用の金具が付いていました。最後は昆布です。生えている昆布は、本、株と数え、だしをとるものとして使う際は、枚、片などで数え、小売単位は、束、把、連と数えるのだそうです。物の数え方のうんちくでした。

秋冷、日毎に加わります。ご自愛くださいませ。



婦人会「さくら」

平成26年10月27日

第153号